

予算決算特別委員会（傍聴者2人）

主な質疑

◆平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第3号）

問 教育費学校管理費の説明を。

答 小学校の危険木伐採・周辺木の整備と遊具点検委託料です。

問 ジオパーク推進費の補正内容は。

答 臨時職員の通勤手当の支給と秋田県男鹿市で開催されるジオパーク全国大会出席への旅費及び自然



予算決算特別委員会の様子

史館をリニューアルし展示室の見直しを予定している。

問 戸籍住民基本台帳費について。

答 本年6月に決定された「女性活躍加速のための重点方針2017」に基づき、今後住民基本台帳法の改正が予定されている。希望者には、住民票やマイナンバーカード、パスポート等に旧姓を併記できるようにするためのシステム改修である。

問 旧黒澤商店周辺の財産取得は、地方創生の補助金や過疎債の対象にならないのか。

答 土地の購入のみは過疎債の対象にならない。土地開発基金で購入し、それを財産替えするということで、過疎債は充当できない。

問 「道の駅しもた」再整備事業の内容について。

答 外国人誘客を目的とした商品開発等委託費で、振興事業として行うものです。整備により販売スペースも拡張され、新しく菓子工房等もできる。地場の農産物や特産品を活用した商品開発を目的とし、町が窓口となり農林省から補助を受け、事業を担う「産

問 マイナンバーカード活用法を考えているのか。

答 検討中である。

問 総務管理費寄附金について説明を。

答 企業版ふるさと納税で、巴工業様とプライムプラン様分です。

業開発しもた」に委託する。

問 林業振興費の補正減について。

答 森林・林業再生基金づくり交付金事業を活用し、森林組合の22トン大型トラック購入計画に対する補助金として予算計上した。計画自体は承認されたが内容が点数で評価され、今回の基準点に達していなかったため事業中止の判断をした。

問 森林組合の構想に無理がある。町も事業を補助する立場として、森林組合を指導した方が良く。要望については良く精査すること。

◆平成29年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

問 平成30年度の制度改正前に国保運営協

議会を開催しなくてもよいのか。

答 6月と2月に定例会を開催している。新たに保険料の試算結果等が県から示されれば、必要に応じて協議会の開催を予定している。

◆平成28年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について

問 町税で不納欠損した人数は。

答 個人町県民税1人、固定資産税6人、軽自動車税3人。

問 町税における収入未済額の人数は。

答 個人住民税の現年課税普通徴収分は47人、現年課税特別徴収分は2人、滞納繰越普通徴収分は43人。法人税の現年課税分は3件。滞納繰越分は10件。固定資

問 町税における収入未済額の人数は。

答 個人住民税の現年課税普通徴収分は47人、現年課税特別徴収分は2人、滞納繰越普通徴収分は43人。法人税の現年課税分は3件。滞納繰越分は10件。固定資

問 歳入の基金運用収入、大きい金額である財政調整基金について、運用状況はどうか。

答 大口は定期預金より利率のよい譲渡性預金で運用している。

産税の現年課税分は68人。滞納繰越分は105人。

軽自動車税の現年課税分は32件、滞納繰越分は49件となっている。

問 基金運用収入について、どのように基金運用しているか。

答 定期預金や金利の良い譲渡性預金で資金運用している。

問 定期預金だけでなく、他のものも金利等を見比べ、より有利なもので資金運用をされたい。

答 そのようにしたい。

問 歳入の基金運用収入、大きい金額である財政調整基金について、運用状況はどうか。

答 大口は定期預金より利率のよい譲渡性預金で運用している。